

私のあま市散策日記

2月11日(月・祝)に下之森八幡社の下之森オコワ祭を見学してきました。事前に調べてみたところ、オコワ祭とは、お櫃ひつに入れた餅米を藁わらで編んだコモに入れ何度も岩に打ち付け餅状になったオコワを参拝者たちが奪い合うと書いてあったんですけど、実際に現場に行ってみると臨場感が違うんですね。

まず、祭りの良さを知っている人たちが熱く語るんです。厄年を迎えた若者たちが神事を受け、厄払いをするために参加し、子どもや車いすに乗った方や経験を積んだご年配の方々も楽しみにしている祭りです。皆で仲良



くコモを岩に打ち付ける姿は微笑ましい。餅状になったオコワを食べると、夏病みしない、無病息災などと言われ、お櫃ひつの木片を手に入れると、雷除けになると言われているから、子どもたちが先を争ってその場を去らない。子どもたちの歓声が上がると冷静にさせようとして「押さないの、取った人は下がって」と周りから声がかかります。代々受け継がれてきた祭の意味が分かるようでした。このようなお祭りが愛西市の勝幡とここだけに残っているのは「昔ながらの人付き合い」が残っているからなのでしょうね。



■編集後記■

ご婦人の方々が作られた甘酒をいただきました。一つまみ程度の生姜を入れたんですが、生姜の良い香りとおほんのりした甘さに体がポカポカしました。この日のために作られたたくわんを食べると口の中がサッパリしました。少年が私にお櫃ひつの木片をくれたのですが、皆さんの優しさに明日からも元気で頑張れそうです。ありがとうございました。

(By 市民記者 大宮大吉)